

## 講師紹介

### ● 高橋和巳 精神科医 医学博士

風の木クリニック院長

<http://www.kazenoki.jp>

- 大学では睡眠脳波の解析、脳機能マッピングなど脳科学研究を行った。
- 長く都立松沢病院に勤めて統合失調症などの精神科一般の診療の他、精神科救急病棟・急性期病棟・アルコール専門外来などを担当した。
- 松沢病院精神科医長を退職後は2004年に風の木クリニック（麴町）を開院し診療している。
- 児童虐待の問題やカウンセラー教育に取り組み、「児童虐待防止 支援者のための講座」、「カウンセリングセミナー」などを定期開催し、またグループスーパーヴィジョンを行っている。
- 著書に『消えない 虐待された人の生き方から知る心の幸せ』（筑摩書房）、『子は親を救うために「心の病」になる』（ちくま文庫）、『心を知る技術』（筑摩書房）、『人は変われる』（ちくま文庫）、『新しく生きる』（三五館）、『わたしは「悪い子」？』（学習研究社）など多数がある。
- 精神保健指定医 / 日本精神神経学会精神科専門医 / 日本睡眠学会睡眠医療専門医

### ● 野口洋一 心理カウンセラー 精神保健福祉士

あさくさばしファミリーカウンセリングルーム室長

<http://www.asakusabashi.net>

- 栃木県立岡本台病院、大石クリニックに精神科ソーシャルワーカーとして勤務し、主に嗜癮関連問題、家族関係問題に取り組む。
- 1998年4月にあさくさばしファミリーカウンセリングルームを開設して現在に至る。
- 都立精神保健福祉センターにてアルコール関連問題助言者、教育プログラム講師、東京都北区、目黒区、墨田区その他各区の保健センターにて嗜癮問題、母子保健の相談など、公的相談事業にも非常勤として従事している。

### ● 箱崎幸恵 精神保健福祉士 カウンセラー 流通経済大学客員講師

子ども虐待防止のオレンジリボンネット管理・編集人 <http://www.orangeribbon-net.org>

カウンセリングルーム 気持ちのキセキ 代表 <http://www.kimochinokiseki.com>

- 1995年から子ども虐待防止活動に携わり、2005年に子ども虐待防止のオレンジリボン運動を国内で初めて全国展開する際に中心的な役割を担った。
- 10代の子どもの気持ちを手紙で受けとめるレターカウンセラーを務めた。自分の感情に気づき感情を表現して分かち合うエモーショナルリテラシーをテーマとした「気持ちのキセキ ワークショップ」を、児童養護施設や里親家庭で育つ子ども、東日本大震災の被災地の小中学校の子どもなどに行っている。
- 母子生活支援施設で母子支援員として勤務後、市役所の母子・女性相談員として、子ども虐待やDVなどの相談を受けてきた。
- 2015年4月にカウンセリングルーム 気持ちのキセキ（江古田）を開設した。
- 著書に『生きづらさから自由になる 気持ちのキセキ』（明石書店）、監訳書に『リンダの祈り～性虐待というトラウマからあなたを救うために～』（集英社）、共編著書に『養育事典』（明石書店）がある。

## 2013/14/15 年度参加者 (計 203 名) のプロフィール

